

## 区有財産を活用した保育所整備

千代田区は、出生数の増加や子育て世帯の転入等の要因により、0～5歳の就学前人口が急増している。

そのため、次世代育成支援計画において、保育所の待機児童ゼロをめざし、平成29年度から31年度までの3年間に、保育定数を約500人増やすことを目標に取り組んでいるところである。

しかしながら、昨今では、保育所を運営する基準を満たすことができる賃貸物件を、保育所設置運営事業者が確保することが困難な状況にあり、加えて、保育士不足の状況の中、保育所設置運営事業者が、保育供給計画を厳選しており、本区における保育所設置のインセンティブが低下し、公募を実施しても応募がない状況となっている。

そのため、低・未利用区有地をはじめとする保育所設置可能な区有財産を活用することで、本区における保育所設置運営事業者の参画意欲を高め、認可保育所の整備を促進する。

### 1 活用する区有財産

#### (1) 低・未利用区有地

- ①旧施設名 旧和泉橋出張所
- ②所在地 千代田区神田岩本町15番地
- ③敷地面積 205.71 m<sup>2</sup>
- ④現構造物 昭和43年築、延床面積1046.44 m<sup>2</sup>
- ⑤定員 0～5歳児 60名程度

#### (2) 区立児童遊園

- ①名称 千代田区立地藏橋西児童遊園
- ②所在地 千代田区神田美倉町10-2
- ③敷地面積 345.00 m<sup>2</sup>
- ④定員 0～5歳児 60名程度

### 2 設置手法

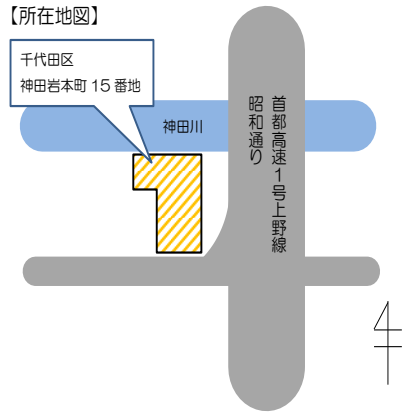
公募プロポーザル方式により保育所設置運営事業者を選定する。  
なお、あわせて、従来の賃貸物件提案型の公募も実施する。

### 3 今後のスケジュール（予定）

- 平成29年2月 パブリックコメントの実施
- 平成29年4月 保育所設置運営事業者の公募
- 7月 保育所設置運営事業者決定

平成30年 7 月 開設予定（地藏橋西児童遊園）  
 平成31年 4 月 開設予定（旧和泉橋出張所跡地）

旧和泉橋出張所



地藏橋西児童遊園

